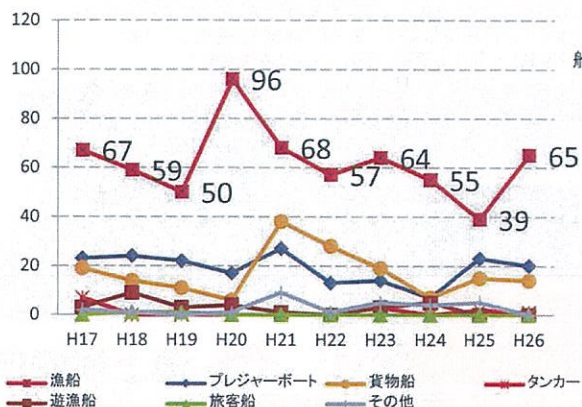


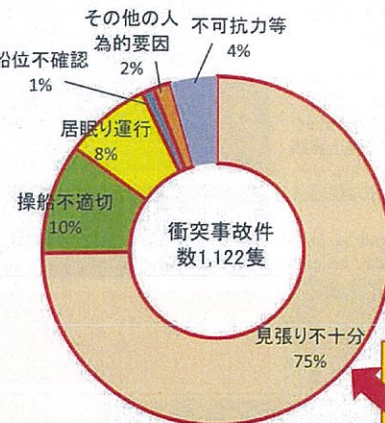
10月は全国漁船安全操業推進月間です！

海難による死者・行方不明者の約7割は漁船が占めています。漁船衝突事故の約8割は見張り不十分によるものであり、人為的要因によるものが9割以上を占めています。

(人) 海難による船舶種類別死者・行方不明者数(過去10年間)



【漁船衝突事故原因別の割合(過去5年間:平成22～26年)】



岸壁に衝突して大破した漁船

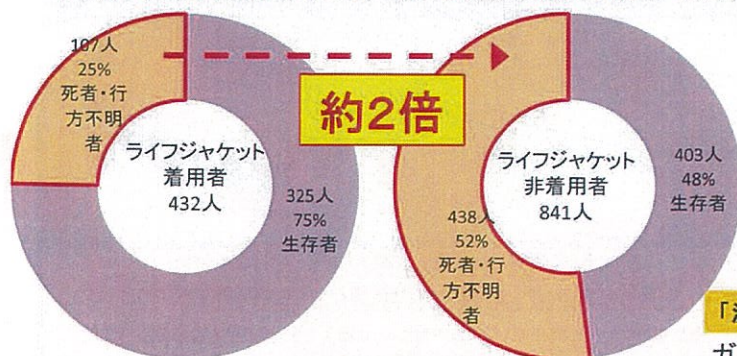


人為的要因
96%

資料:海上保安庁

ライフジャケットの非着用者の死亡率は着用者に比べて約2倍高くなります。万が一海中転落の際、自分の命を守るためライフジャケットを必ず着用しましょう！

【漁船からの海中転落者の生存／死亡率(過去5年間:平成22～26年)】



資料:海上保安庁

自分の体形や作業内容等により適した種類を選びましょう！

固型式(チョッキ式) 空気密封式 膨張式(首掛け式) 膨張式(ベルト式)

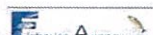


「漁業者のためのライフジャケット着用推進ガイドライン」を活用ください！

ガイドラインでは、ライフジャケット着用のポイントや自分にあったライフジャケットの選択に関する情報等が掲載されています。

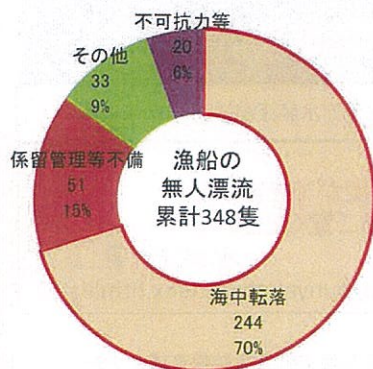
【漁船の安全操業に関する情報】 <http://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/bunyabetsu/index.html#a-11>

水産庁

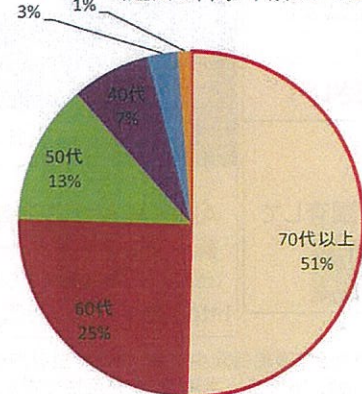


漁船の無人漂流のうち、海中転落によるものが約7割を占め、その半数を70歳以上の高齢者が占めています。高齢者の皆様は日頃の体調管理にも万全を尽くしましょう！

漁船の無人漂流原因別
(過去5年間:平成22～26年)【日本国籍】



漁船の海中転落による無人漂流年代別
(過去5年間:平成22～26年)【日本国籍】



無人漂流漁船を曳航する巡視船



資料:海上保安庁

10月は全国漁船安全操業推進月間です！

「カイゼン講習会」を活用して、「安全推進員」を養成しましょう！

カイゼン講習会の詳細は、一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターホームページをご覧ください！

お問い合わせ先：03-5545-1617 [安全事業関係資料] <http://shuugyousha.org/pdf/anzen/annnai2014.pdf>

マリンセーフティガイド



発航前点検とライフジャケットの常時着用！

「マリンセーフティガイド」は、安全な航行のために、出航前、航行中、入港後のチェック項目を掲載した海難防止実践パンフレットです。「プレジャーボート編」「漁船編」の2種類あります。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/syukai/soshiki/toudai/navigation/safety/handbook.htm>



沿岸域情報提供システム(MICS)

海上保安庁では、全国各地の灯台などで観測した気象・海象の状況、海上工事の状況など、海の安全に関する情報を提供する沿岸域情報提供システム(MICS)を運用しています。MICSの情報は、インターネットを通じて誰でも簡単に利用することができます。

パソコン用サイト

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



スマートフォン用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



携帯電話用サイト

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>



緊急情報配信サービス

24時間体制で海上保安庁が発表する緊急情報や気象庁発表の気象警報・注意報等を電子メールで配信します。

新規登録ページ

<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touraku.html>



JCG 海上保安庁

運輸安全委員会のホームページを安全操業に活用しましょう！
(過去の実験事例から事故防止策などを見ることができます。)

船舶事故ハザードマップモバイル版

地図から探せる事故とリスクと安全情報



どこで、どんな事故が起こっているかひとめでわかります。



スマートフォンやタブレットで

漁ろう中の死傷等事故の防止に向けて

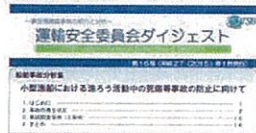
http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdigests_No16.html



「運輸安全委員会ダイジェスト」として、事故発生状況や事故事例から再発防止の教訓をまとめています。

再発防止の教訓

救命胴衣の着用の徹底
安全作業の徹底
外部との連絡手段の確保



詳細は運輸安全委員会ホームページをご覧ください！



運輸安全委員会
Japan Transport Safety Board

運輸安全委員会は、年間約1,000件の船舶事故等を調査して報告書をホームページで公表しています。

<http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>



海難事故防止のためAISの導入を！

総務省、国土交通省、水産庁、海上保安庁

AISとは？

AIS (Automatic Identification System: 船舶自動識別装置) とは、船舶の位置、針路、速力等の安全に関する情報を、自動的に送受信するシステムです。

AIS情報(位置、針路、速力等を相互に確認可能)



➤ AISは雨や波の影響を受けず、荒天時でもお互いの位置、針路等を容易に確認できます！

簡易型AISは、比較的低価(10数万円程度)で購入でき、無線従事者の資格がなくても操作できます。(※ただし無線局の免許申請は必要です。)

AISを搭載する漁船に支援制度ができました！

漁船保険中央会において、AIS搭載漁船への優遇措置として、年間保険料の一部を助成します。

お問い合わせ先：水産庁漁業保険管理官 03-6744-2357

漁船保険中央会 03-3591-3103

<http://www.ghn.or.jp/>

漁船へのAISの設置に当たって、漁船資金等を借り入れる場合の金利を実質無利子とする利子助成(最大2%)を行っています。

お問い合わせ先：水産庁水産経営課 03-6744-2347

AISを搭載する漁船に支援制度ができました。

詳細は水産庁ホームページをご覧ください！

[漁船の安全操業に関する情報]

水産庁

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/bunyabetsu/index.html#a-11>

幹事団体：(一社)大日本水産会

協賛：全国漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会、漁船保険中央会、(公財)漁船海難遺児育英会、

(一財)中央漁業操業安全協会、(一社)全国漁業無線協会、NPO法人水産・漁村活性化推進機構、(一社)全国漁業就業者確保育成センター

後援：水産庁、国土交通省、海上保安庁、運輸安全委員会、海難審判所